

平成25年度中間決算について

本州四国連絡高速道路株式会社の平成25年度(第9期)中間決算についてお知らせします。

1. 決算概要

2. 決算資料

[個別決算]

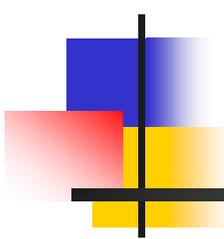
- ・ 中間貸借対照表
- ・ 中間損益計算書
- ・ 中間株主資本等変動計算書
- ・ 個別注記表

[連結決算]

- ・ 中間連結貸借対照表
- ・ 中間連結損益計算書
- ・ 中間連結株主資本等変動計算書
- ・ 連結注記表

※当社の中間決算は、金融商品取引法に基づいて作成したのではなく、
情報開示等の目的で任意に作成したものです。

平成25年12月20日
本州四国連絡高速道路株式会社



平成25年度中間決算概要

(平成25年4月1日～平成25年9月30日まで)

- 平成25年度事業概要
- 平成25年度経営及び財政状況(連結・個別)
- 平成25年度業績見通し(連結・個別)

事業概要(高速道路事業)

お客様に**[安全]** **[安心]** **[快適]**に利用していただけるよう、円滑に業務を実施しました。

- ❑ 当中間期の通行台数は2,053万台(前年同期比3.1%増)、料金収入は335億円(前年同期比2.0%増)となりました。
- ❑ 道路資産賃借料は、機構への支払額が増加し、前年同期と比べ6億円増の235億円となりました。
- ❑ 平日、休日とも昨年同様の料金割引を継続しています。
- ❑ より安全・安心・快適にご利用いただくため、舗装補修工事をはじめ、道路清掃等の維持作業や構造物補修・取替えなど適切な維持補修を実施しています。また、長大橋塗替塗装、耐震補強などの構造物修繕工事及び設備更新工事を適宜実施しています。

舗装補修(瀬戸大橋)



長大橋塗替塗装(瀬戸大橋)



耐震補強(茶間川橋)



事業概要(関連事業)

- お客様サービス向上のため、SA・PAにおいて混雑対策等を実施しました。
 - SA・PAに仮設トイレを設置、駐車場に交通整理員を配置(混雑期)
 - 淡路SA(下り線)のリニューアル工事に着手
- 長大橋の建設・管理技術を活用して、JICA((独)国際協力機構)、地方公共団体等から長大橋技術支援業務等を受託しました。

混雑対策(交通整理員)



JICA橋梁総合コース研修受託



経営状況の総括

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

連結中間決算における経常利益は22億円、特別利益・法人税等を加減した結果、中間純利益は13億円となりました。

単位:億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成25年度	平成24年度	増(△)減	前年比 (%)	平成25年度	平成24年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	357	346	11	3.2	349	337	11	3.4
営業費用	336	326	10	3.0	330	319	10	3.3
営業利益	20	19	1	6.3	19	17	1	6.2
経常利益	22	20	1	5.5	19	18	1	5.4
中間純利益	13	11	2	20.8	11	9	2	21.7

[連結対象子会社]

会社名	主な事業
JBハイウェイサービス(株)	休憩所等事業、料金收受管理、交通管理
(株)ブリッジ・エンジニアリング	点検管理、長大橋維持修繕
JBツールシステム(株)	料金收受機械保守整備、料金収入・交通量のデータ管理

高速道路事業の損益状況

- 料金収入(335億円)、道路資産完成高(9億円)等の営業収益345億円に対し、道路資産賃借料(235億円)、道路資産完成原価(9億円)及び管理費用(83億円)の営業費用が328億円となり、営業利益は17億円となりました。

単位:億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成25年度	平成24年度	増(△)減	前年比 (%)	平成25年度	平成24年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	345	334	10	3.2	345	334	10	3.2
料金収入	335	328	6	2.0	335	328	6	2.0
道路資産完成高	9	5	3	69.8	9	5	3	69.8
その他の売上高	0.5	0.5	0.07	13.9	0.5	0.5	0	0.2
営業費用	328	318	9	2.8	326	316	9	2.9
道路資産賃借料	235	229	6	2.6	235	229	6	2.6
道路資産完成原価	9	5	3	69.8	9	5	3	69.8
管理費用	83	83	△0.8	△0.9	81	82	△0.5	△0.7
営業利益	17	15	1	10.1	19	17	1	7.4

関連事業の損益状況

- 休憩所等事業収入(8億円)、受託事業等収入(3億円)等の営業収益11億円に対し、休憩所等事業費用(4億円)及び受託事業等費用(3億円)の営業費用が8億円となり、営業利益は3億円となりました。

単位:億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成25年度	平成24年度	増(△)減	前年比 (%)	平成25年度	平成24年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	11	11	0.5	4.4	3	2	1	36.1
休憩所等事業	8	8	△0.1	△2.3	1	1	△0.2	△13.7
受託事業等	3	2	0.7	24.4	2	0.8	1	147.4
営業費用	8	7	0.8	11.4	4	2	1	44.3
休憩所等事業	4	5	△0.1	△2.8	1	1	△0.1	△11.1
受託事業等	3	2	1	37.7	2	1	1	122.5
営業利益	3	3	△0.3	△10.3	△0.1	0.07	△0.2	—
休憩所等事業	3	3	△0.05	△1.5	0.2	0.3	△0.08	△26.0
受託事業等	△0.1	0.1	△0.3	—	△0.3	△0.2	△0.1	—

資産・負債の状況

- 高速道路事業については、ETC設備及び料金収受機械設備等を更新しました。また、料金収受員が安全に横断移動するための通路を設置しました。
- 資産の総額521億円に対し、負債の総額は353億円となり、純資産の総額は、前年度末から13億円増加した168億円となりました。

ETC 設備



安全通路



財政状況(貸借対照表)

(平成25年9月30日現在)

単位: 億円

区 分	連結中間決算			個別中間決算		
	平成25年度 (中間期末)	平成24年度 (期末)	増(△)減	平成25年度 (中間期末)	平成24年度 (期末)	増(△)減
資 産	521	541	△19	457	483	△26
流動資産	303	317	△13	278	295	△17
固定資産	218	224	△6	178	188	△9
負 債	353	387	△33	313	352	△38
流動負債	132	159	△27	120	150	△30
固定負債	221	227	△6	193	201	△7
純資産	168	154	13	143	131	11
株主資本	168	154	13	143	131	11
資本金	40	40	0	40	40	0
資本剰余金	40	40	0	40	40	0
利益剰余金	88	74	13	63	51	11
(負債・純資産合計)	521	541	△19	457	483	△26

平成25年度業績見通しについて

平成25年度業績見通しは、連結で9億円、個別で3億円の利益を見込んでおります。

単位:億円

	連結業績見通し			個別業績見通し		
	平成25年度 (業績見通し)	平成24年度 (決算)	増(△)減	平成25年度 (業績見通し)	平成24年度 (決算)	増(△)減
営業収益	793	712	81	778	694	83
高速道路事業	746	677	69	746	676	70
関連事業(うち休憩所等事業)	47(15)	35(15)	12(△0.7)	31(3)	17(3)	14(△0.6)
営業費用	787	703	83	777	690	86
高速道路事業	746	675	71	746	673	72
関連事業(うち休憩所等事業)	40(10)	28(9)	12(0.6)	30(2)	16(2)	14(△0.09)
営業利益	7	9	△3	1	4	△3
高速道路事業	0	1.8	△1.8	0	2.8	△2.8
関連事業(うち休憩所等事業)	7(5)	7(6)	△0.7(△1)	1(0.7)	1(1)	△0.09(△0.5)
経常利益	10	12	△3	3	6	△4
当期純利益	9	8	0.5	3	4	△0.8

※平成25年度業績見通しについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。